

第4回 赤穂港御崎地区唐船海岸ぬかるみ対策検討委員会 議事骨子

【議事1】第3回検討委員会での主な意見と対応

- 対応について、特に修正点等はなし。

【議事2】暫定対策工事の実施状況

- 海水浴場範囲では、対策実施箇所ですかるみの発生は見られず、良好な状態が維持されている。
- 唐船山西側においては、岩礁付近の一部に排除された泥が残っているものの、覆砂した砂の粒径は潮干狩場にとって粗すぎることはない。

【議事3】唐船海岸におけるぬかるみ発生原因究明

- 河川出水時には干潟テラスに細粒土が堆積し、これが供給源となって海岸に輸送される。
- 高波浪作用時にぬかるみが拡大することではなく、通常潮汐や小波浪の作用によって海岸に輸送された細粒土がトラフに堆積・固定化される。

【議事4】対策工の効果検証と基本方針

- 対策工として、「浚渫・覆砂」を基本とする。

【議事5】今後の維持管理手法の在り方

- 今後の維持管理対象期間は、5年間とし、3年後にモニタリングデータ等を用いた中間評価を行う。
- モニタリング内容は、簡易的な写真撮影、ぬかるみ定点調査を継続し、地形やぬかるみ発生状況に応じて、詳細な調査を行う。
- 対策についても、モニタリング結果を踏まえながら、検討していくこととする。

【議事6】委員会提言素案

- 委員会提言素案については、発生原因～検討内容～対策方針をひとつの流れとしてわかり易くとりまとめる。